

阪神・淡路大震災を忘れない

～ひょうご安全の日のつどい～

～近畿地方整備局 六甲砂防事務所～

阪神・淡路大震災から19年目にあたる1月17日に、「ひょうご安全の日のつどい」が開催されました。六甲砂防事務所は、近畿地方整備局のブースで阪神・淡路大震災により発生した土砂災害と、その後の取組みに関するパネル展示を行いました。

概要

日時：平成26年1月17日（金）

10:30～15:00

場所：なぎさ公園（HAT神戸）

主催：ひょうご安全の日推進県民会議



○阪神淡路大震災による被災写真などを展示

「ひょうご安全の日のつどい」は、「風化しがちな防災意識を新たにするとともに、震災の経験と教訓を発信し、1.17を忘れずに語り継ぐ」ために開催されました。平成7年の兵庫県南部地震の影響で、六甲山地では約770ヶ所で山崩れなどの土砂災害が発生しました。震災から19年が経過し、一部を除いては、かつて崩壊地があったことすらわからない程まで緑が回復しています。今回は、震災発生以降これまで六甲砂防事務所が行ってきた土砂災害対策事業について紹介するパネル展示を行いました。来年は震災から20年になります。今後ともこうした取り組みを通じて、土砂災害の危険は身近なところにもあるということを知っていただけるように努めて参ります。



パネル展示の様子



震災直後の六甲山地
神戸市東灘区焼ヶ原地区
平成7年撮影

【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15
TEL：078-851-0535

